

区の財政硬直化と高齢者の生涯現役社会実現について

自由民主党目黒区議団 清水 まさき 議員

<財政の硬直化>
区長は2年前から財政危機を認識しながら、効果的なマネージメントを行わず23区中最下位という「財政の硬直化」を招いた。この責任と財政再建に向けたスケジュールを含めた区長の見解を問う。

区長 経常収支比率悪化の最大の要因は、世界的規模の景気悪化に伴う区税収

入等の激減である。今後3年間で取り組む行革計画では、区有施設の見直し、職員定数適正化、財政運営のルール化の3つのプロジェクトを掲げており、これを確実に実行することで財政基盤の改善を目指していく。

<行革計画>
(1)170を超える区有施設について、具

体的にはどのように見直すのか。(2)将来を担う世代に負の財産を先送りせず、夢の持てるような区政を実現するにはどうすべきか。(3)ただ職員数と人件費を削減するのでは、職員のモチベーションが下がってしまう。どのように職員の能力を引き上げるのか。

区長 (1)全区有施設のデータ集を作成して施設のあり方を検討し、統廃合を含めた見直し方針を策定していく。(2)行革計画に掲げた3プロジェクトを着実に実行し、安定かつ強固な財政基盤を確立することで、基本構想と基本計画に掲げる目黒区の将来像の実現に向け、新たな施策を実現していく。(3)研修の充実、業績等を

反映した処遇の確保などを調査・研究し、人材育成・活用基本方針を改定して、組織の総合力を高めることに取り組んでいく。

<高齢者の働く場>

(1)60歳以上の人口が区民の四分の1を占める現在、働く意欲のある高齢者が社会参加できる生涯現役社会を目指し、現行の「労働保護法制」をどう考えるか。(2)高齢者に就業等の機会を提供するシルバー人材センターを、今後どのように支援していくか。

区長 (1)法制上の課題は、区として何ができるか研究していく。(2)シルバー人材センターの役割は一層重要になるため、引き続き支援していく。

最近の委員会の主な議題 (平成24年1月~3月)

常任委員会

企画総務委員会

- 1月11日(水)**
- 区未利用地等の取り扱い
 - 契約報告(5件)
 - アスベスト含有吹付け材再調査の結果
 - 目黒区暴力団排除条例(仮称)の骨子(案)に係るパブリックコメントの実施結果
 - 目黒区「安全・安心まちづくり」のための覚書の締結
- 2月8日(水)**
- 目黒区行革計画(案)
- 2月13日(月)**
- 平成24年度組織改正
 - 予算編成過程の公表
 - 目黒区長選挙執行計画(概要)

3月2日(金)

- 議案審査
- 「地域主権改革」による権限移譲等への対応
- 平成24年度都区財政調整方針
- 平成23年度都区財政調整再調整方針

3月5日(月)

- 陳情審査
- 平成24年度からの区報等の変更
- 平成24年新年のつどいの実施結果
- 訴訟事件の報告
- ワーク・ライフ・バランス推進事業の実施
- 契約報告(3件)
- 土地の寄付の受入れ

3月6日(火)

- 補正予算審査

生活福祉委員会

1月11日(水)

- 平成24年度まちづくり活動助成事業の実施
- 住民基本台帳法の一部改正に伴う対応等
- 「地域主権改革」の権限移譲に伴う生活衛生関係の条例制定
- 食中毒の発生に伴う行政処分
- 平成23年度目黒区肺炎球菌予防接種一部助成事業実施期間の延長

2月2日(木)から2月3日(金)

- 【視察:箱根の民間保養施設】

2月8日(水)

- 平成24年度めぐろ区民キャンパス構成施設の臨時休館
- 平成24年第1回東京都後期高齢者医療広域連合議会定例会における議決結果等
- 平成24年度国民健康保険事業の主な改正内容
- 目黒区芸術文化振興プラン改定の考え方等
- 目黒区美術館の臨時開館
- 平成23年度目黒区認知症高齢者グループホーム整備費補助事業に係る事業者の決定
- 食中毒の発生に伴う行政処分

3月2日(金)

- 議案審査
- 目黒区地域福祉審議会の答申
- 目黒区保健医療福祉計画改定案
- 第5期目黒区介護保険事業計画案
- 目黒区障害者計画改定案

3月5日(月)

- 陳情審査
- 平成24年第1回臨海部広域斎場組合議会定例会

都市環境委員会

- 平成24年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団の事業計画・収支予算
- 目黒区美術館資料の収集
- 目黒区立緑ヶ丘小学校屋内プール他2プールの休館日及び閉館時間の見直し

1月11日(水)

- 目黒区景観計画改定案
- 高層アンテナ計画に係る関係規定の整備
- 工事報告[道路維持工事(緑が丘一丁目先)]、[道路維持工事及び道路改良工事(東山三丁目)]
- 区民農園の運営費等の改定
- 都市計画公園・緑地の整備方針(改定)

2月8日(水)

- 区有通路に係わる区域変更等の見直し
- 向原町児童遊園拡張整備に向けた取り組み
- 目黒区住宅マスタープラン改定案
- 区営住宅管理基金活用の見直し
- 区営住宅等における暴力団員排除に関する考え方
- 目黒駅周辺地区整備構想案
- 中目黒駅周辺地区整備方針案
- 粗大ごみインターネット受付システムの一時停止

3月2日(金)

- 【視察:特別区道路線、目黒区宮清水町アパート】
- 議案審査
- 目黒区交通バリアフリー推進基本構想改定案
- 目黒川の水质改善に向けた取り組み状況
- 目黒銀座児童遊園改良に向けた取り組み
- 区営住宅入居者募集
- 目黒区環境基本計画改定案

3月5日(月)

- 陳情審査

文教・子ども委員会

1月11日(水)

- 鷹番小学校・田道小学校の学校運営協議会
- 平成24年成人の日のつどいの実施結果
- 「ティーンズフェスタ・イン・めぐろ2011」の実施結果
- 大橋図書館第一会議室内アスベスト含有吹付け材撤去工事説明会の結果

2月8日(水)

- 平成24年度区立幼稚園の入園申込状況
- インフルエンザの流行に伴う学級閉鎖等の状況
- 平成23年度「いじめ問題を考えるつどい」の実施結果
- 平成24年度以降の社会教育館等の運営方法
- 目黒区すずめのお宿緑地公園古民家の公開日等の変更
- 平成24年度以降の図書館の運営方法
- 平成24年度学童保育クラブ入所申請状況及び油面学童保育クラブ受け入れ児童数の暫定拡大

2月13日(月)

- 平成24年度学童保育クラブ入所申請状況及び油面学童保育クラブ受け入れ児童数の暫定拡大
- 平成24年4月区内認可保育所入所申込状況
- 駒場保育園内アスベスト含有吹付け材撤去工事
- 目黒本町二丁目複合施設(第二ひもんや保育園)のコンクリート放射線問題に関する対応
- 平成24年度以降の図書館の運営方法

3月2日(金)

- 【視察:中根小学校内学童保育クラブ新築工事の中間視察】
- 議案審査
- 区立中学校の改定統合方針(案)の修正
- 東京都特別支援教室モデル事業の実施
- 平成24年度教育行政運営方針(案)
- インフルエンザの流行に伴う学級閉鎖等の状況
- 平成23年度学校評価における四者による学校評価アンケートの実施結果等
- 平成23年度自然宿泊体験教室等の実施概要

3月5日(月)

- 陳情審査
- 区立中学校の改定統合方針(案)の修正
- 保育園におけるインフルエンザの罹患状況

3月27日(火)

- 【視察:中根小学校内学童保育クラブ新築工事の竣工確認】

議会運営委員会

1月18日(水)

- 平成23年度5月~9月分政務調査費収支報告書に係る議長の調査結果について(報告)
- 平成24年4月から平成25年3月までの区議会予定表(案)について
- 議長車の車種の決定について
- 検討事項について

2月1日(水)

- 平成24年第1回区議会定例会区長所信表明について
- 平成24年度組織改正について
- 目黒区行革計画(案)について
- 平成23年度目黒区各会計補正予算(第2号)案について
- 平成24年度目黒区各会計予算案について
- 予算編成過程の公表について
- 平成24年新年のつどいの実施結果について
- 東京法務局について
- 災害対策本部初動対応訓練の実施について
- 平成24年4月から平成25年3月までの区議会予定表(案)について
- 検討事項について

2月13日(月)

- 平成24年第1回定例会の招集について
- 提出予定議案について
- 会期及び会期中の日程について
- 議会運営委員会に提案する意見書等について
- 代表質問・一般質問の通告期限について
- 請願・陳情について
- 予算特別委員会の設置及び正副委員長の選出について
- 本会議における討論通告書の提出期限について
- 検討事項について

2月20日(月)

- 陳情について
- 代表質問・一般質問の順序について
- 平成24年度都区財政調整再調整方針について
- 平成23年度都区財政調整再調整方針について
- 目黒区議会議員の議員報酬等の特例に関する条例(案)について

2月27日(月)

- 追加提出議案について
- 議事日程及び進行順序について
- 委員会の開催予定について
- 意見書(案)について

3月27日(火)

- 追加提出予定議案について
- めぐろ区議会だより(4月23日発行予定)の原稿案について

3月27日(火)

- 追加提出議案について
- 政務調査費並びに区議会議員選挙の公費負担に関する調査特別委員会設置の動議について
- 討論通告について
- 議事日程及び進行順序について

3月27日(火)

- 追加提出議案について
- めぐろ区議会だより(4月23日発行予定)の原稿案について

3月27日(火)

- 追加提出議案について
- 政務調査費並びに区議会議員選挙の公費負担に関する調査特別委員会設置の動議について
- 討論通告について
- 議事日程及び進行順序について

3月27日(火)

- 追加提出議案について
- 政務調査費並びに区議会議員選挙の公費負担に関する調査特別委員会設置の動議について
- 討論通告について
- 議事日程及び進行順序について

特別委員会

震災対策調査特別委員会

1月27日(金)

- 災害時における飲料の優先供給等に関する協定の締結
- 調理済み給食の放射性物質検査結果

2月10日(金)

- 災害対策本部初動対応訓練の実施
- 狭あい道路の幅幅整備事業の見直し
- 平成23年夏期における区施設等の節電対策の実施結果
- 宮城県女川町の災害廃棄物受入れにかかる住民説明会の開催

2月23日(木)

- 【視察:独立行政法人放射線医学総合研究所】
- 議案審査
- 陳情審査
- 東日本大震災に伴う職員の長期派遣
- 「東日本大震災における区の対応結果等(第一次総括)」に掲げた7つの課題に関する取組みの方向(案)
- 東日本大震災被災者等の区内受入に伴う区の対応状況報告(9件)
- 調理済み給食の放射性物質検査結果
- 宮城県女川町災害廃棄物受入れにかかる住民説明会の実施結果

予算特別委員会

3月1日(木)

- 正副委員長の互選

3月14日(水)~3月26日(月)土日祝日を除く

- 議案審査

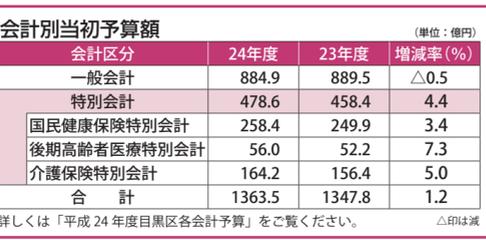
平成24年度 各会計予算のあらまし

各会計の予算額、一般会計予算の内訳の概要は、図表のとおりです。(図表の数値は、四捨五入をした関係で、一部合計が合わない場合があります。)

会計区分	24年度	23年度	増減率(%)
一般会計	884.9	889.5	△0.5
特別会計	478.6	458.4	4.4
国民健康保険特別会計	258.4	249.9	3.4
後期高齢者医療特別会計	56.0	52.2	7.3
介護保険特別会計	164.2	156.4	5.0
合計	1363.5	1347.8	1.2

(単位:億円)

詳しくは「平成24年度目黒区各会計予算」をご覧ください。 △印は減



平成24年度予算案に対する討論(要旨)

●詳細は、目黒区議会会議録または区議会ホームページの会議録検索をご覧ください。

一般会計

区財政は「健全」。危機あり区民生活切り捨ては許されない!

日本共産党目黒区議団 岩崎 ふみひろ 議員

目黒区の財政は総務省の健全化判断比率でも「健全」と判断されているのに、財政危機をあり、区民生活を大幅にカットする新年度予算案は容認できない。

緊急財政対策と、「行革」計画で700項目に及ぶ185億円の区民生活カットを容赦なく進め、国保料や介護保険料を引き上げることと合わせ、暮らし支援が大幅に後退している。また、木造住宅の耐震診断を無料から有料にするなど、求められている震災対策とはかけ離れたる予算案である。

区民サービス向上と防災力拡充に向けて、職員力を総動員せよ!!

自由民主党目黒区議団 赤城 ゆたか 議員

自由民主党目黒区議団が主張するニューパラダイムシフト(新しい枠組み)であり、強く要望した区施策の説明責任、「予算編成の見える化」、区民意見への丁寧な対応と検討、公会計制度の導入、各施策や施設を含めたスクラップアンドビルドの対応、制度疲労等がみられる本区独自制度の見直し、昭和35年に制定された生活圏域の見直し、経常収支比率の適正化、区有資産の売却に対する慎重な対応と新たな税外収入に向けた取組み、民間活力の積極的導入、職員参集、配備基準をはじめ

初動時における各種応急体制の整備充実、個性を伸ばす次世代に向けた教育、誇りの心で高齢者の安心を、地域で育む安心の子育て環境を、事務事業の見直しシートと建物白書を用いての検証と緊急財政対策や新行革で示された大幅削減で区民に痛みをお願いすることになる。一層の区民への丁寧な説明を要望し、区民生活に混乱を招かぬよう安定した持続可能な区政運営の確約を求め本予算に賛成する。

区民に寄り添い、区制80周年の佳節を

目黒再生の元年に!

無所属・目黒独歩の会 梅原 たつろう 議員

目黒区民を180億円もの財政難の道に引きずり込みながら、一年前に死者・行方不明者合わせて19,009人と言う尊い命を失った大震災から学ぶことをせよに組み立てられた予算だ。一方、目黒の幹部職員は大震災から半年も経たないのに被災地角田市の野球場で角田の幹部職員と野球交流会をして楽しんでいるという、異常としか言いえない青木区長組織体制となってきた。また、風評被害を訴えている福島市(約28.6万人)では131台の放射線

量(ベクレル)を測る機器を購入し、市民の内部被ばく対策に努めているが、青木区長は1台も購入せずに国基準を守れば大丈夫としか言わない。内部被ばくは福島市民も目黒区民も環境に違いはない。震災の時に区民を守るのも職員の役割である。しかし、青木区長は気仙沼市帰りが3回、角田市市帰りが1回しか行っておらず、震災時の指揮監督ができるとは思えない。無所属・目黒独歩の会は、怒りをもって予算に反対する。

区民に寄り添い、区制80周年の佳節を

目黒再生の元年に!

公明党目黒区議団 川原 のぶあき 議員

平成26年度までの3か年は区民に痛みの伴う改革が続く。青木区長は、これまで区民への説明責任を果たしてきたと言っているが、果たしてどれだけ区民に伝わっているだろうか。区長をはじめ職員一同は区民に対して、誠実であって頂

きたい、心を通わせて頂きたい、寄り添って頂きたい。そして、未来への希望を示し頂きたい。

今回の予算審査で指摘した事業については、今後も効率的な予算執行を推進すること、防災・子育て・教育・福祉施策につ

予算特別委員会正副委員長



山宮 きたか副委員長 今井 れい子委員長

いては充実を図ること、新公会計制度導入により財政の見える化を図ること、行革計画の進捗状況、施設白書など、スピード感をもって議会、区民に公表すること、そしてネーミングライツなど、新たな歳入確保に努めるなど、目黒区の再生に向けて不退転の決意で、必死に取り組まれるよう強く要望する。

責任と覚悟を持つ区政運営へ

「青空と緑と笑顔の目黒区を!」

みんなの党目黒区議団 伊賀 やすお 議員

みんなの党が誕生し、「区民サービスを低下させる前に自らが身を削る」責任と覚悟を訴えてきた。アクションプログラムは3年間で180億円余の予算確保という内容だが、先のビジョンが全く無く、その場しのぎの政策としか思えない。今必要なのは強いリーダーシップの下、特色ある目黒の施策を実現することである。収益確保の為に、歳入増の施策として区独自で可能な特別区民税の増収。特に生産年齢人口増加や少子化対策とし

て、待機児童ゼロを早期実現する。23区平均4%の人口増加率に対し、目黒はたったの1%微増である。歳出抑制や経常収支比率の改善には、職員人件費の積極的削減が必要。退職不補充の自然減ではなく、民間同様の競争原理を導入した人事評価制度を用い、有能職員の積極採用を実施すべきだ。また、東日本大震災の教訓を生かして震災対策予算拡充も必要。「青空と緑と笑顔の目黒区を」実現する区政運営を要望し、本予算に反対する。

3年間で180億円の財源確保 64億円の基金を維持

刷新めぐろ 香野 あかね 議員

大震災で歳入の落ち込みが懸念される。経常的経費が増大し新規・臨時の行政需要への対応や施設の更新が困難であり、財政環境の安定化が急務だ。歳入確保では人口減少と税収減の食い止め、自販機設置料徴収の交渉力の向上、使用料を徴収していない施設の受益者負担の適正化、小型家電リサイクル等の歳入確保策を、歳出削減では、外郭団体や部局の統廃合への将来を見通した聖域なき取り組み、費用対効果の高いIT機器活用、職員残業代削減に向けた全庁的取り組みの具

体化を求める。区民に理解を求める区は、既定経費を含む予算編成過程の公開及び全事業を対象とする事業評価を行え。時代に即し、市民後見人制度の周知、認可保育園入園審査の乳児に配慮した改正、健康福祉における検診の期間設定とSNSを利用した告知の工夫を求め。災害対策では財政的裏付けの明確化、施設の非構造部材の耐震化を求め。従来の発想を転換し新時代を築くことを求める。

プレーパークをまちのコミュニティづくりの拠点に。

広吉 敦子 議員

予算に賛成する。170の区有施設見直しは単に削減・統合でなく、施設整備による延命対策、運営方法等工夫し、事業をより発展させること、防災防犯対策ではソフト面を充実させるべき。地域コーディネーター、認知症コーディネーターを機

能させ高齢者や子育て対策を強化すること。これからのエネルギーを考える環境学習啓発事業を充実させよ。地域住民運営のプレーパーク(子どもの冒険遊び場)等のコミュニティづくりを優先せよ。